

災害時でも活躍、お薬手帳の活用

第2回 「お薬手帳はお持ちですか」

「お薬手帳」が誕生して約20年。今まで薬局利用者の9割の方にお持ちいただいている。すでに皆様の身近なものになり、広辞苑にも「お薬手帳」という言葉が新たに掲載されました。

薬局に処方箋を持参される時や市販薬医療機関を受診する

等を購入する時、健康に関する相談等がある時、ぜひお薬手帳をご提示ください。薬剤師が、処方内容や、患者さんの副作用歴、アレルギー歴等を確認し、調剤もしくは購入され

ます。

お薬手帳をご活用いただくことで、同じような薬の重複、薬や食べ物との飲み合わせの問題などを確認できます。そのためにもお薬手帳は

しましょう。処方された薬が前回と同じで、いつ受診したかという情報も重要な情報で、毎回記入してもらうことが大切です。

また、副作用が発生した時にも、過去に服用した薬の情報があれば、原因究明や予防対策に役立ちます。

そんなお薬手帳で雨、北海道地震などの被災地においても多くの活用例が報告されています。普段の薬の管理だけではなく、災害など万が一の場合に備える意味



しかし、お薬手帳の記録があれば、今までどのような薬を

災し受診できない」といったことが起こります。

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨、北海道地震など

行けない」「普段飲んでいる薬がない」「いつもの病院が被りたことがあります。

でも医師・薬剤師によるスマートで適切な対応を受けることができます。

マートフォンからダウントロードいただく

紙のお薬手帳では忘れてしまうという方には、アプリの「電子お薬手帳」もご利用いただけます。スマートフォンからダウンロードいただく

に活用していただきたいと思います。